

がん相談業務 (院内におけるピアサポート)

相談記録シート集計報告

実施期間：令和3年1月1日～令和3年3月31日

がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

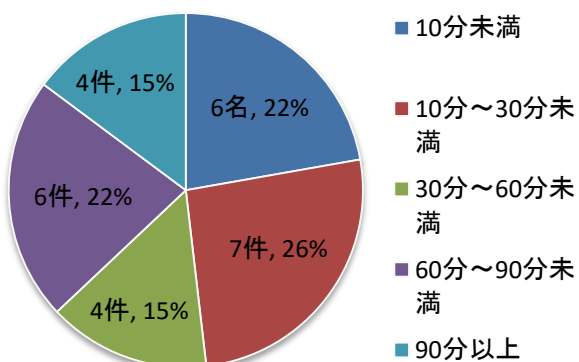
■ 調査対象期間 令和3年1月1日～令和3年3月31日

■ 調査件数 27 件

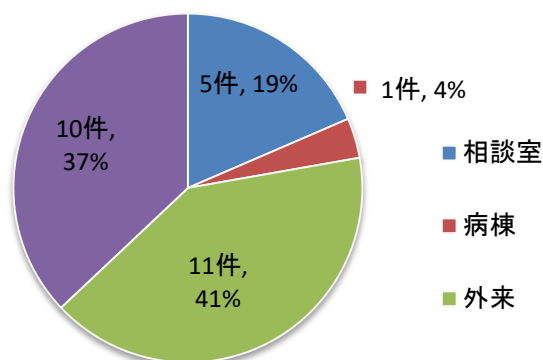
相談月	件数
1月	7
2月	4
3月	16
合計	27

* ひきつづき、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、面会制限あり。また1月20日～2月28日まで県独自の非常事態宣言発出。

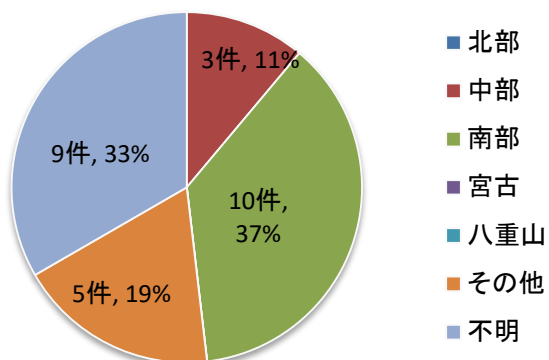
相談時間



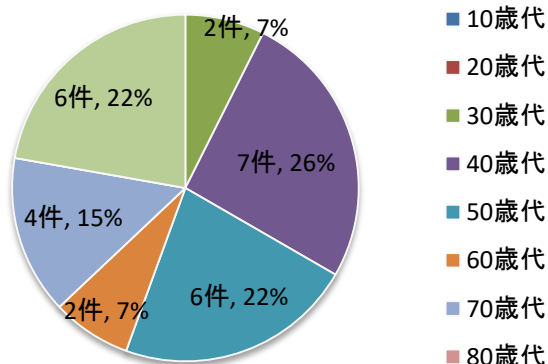
相談形式



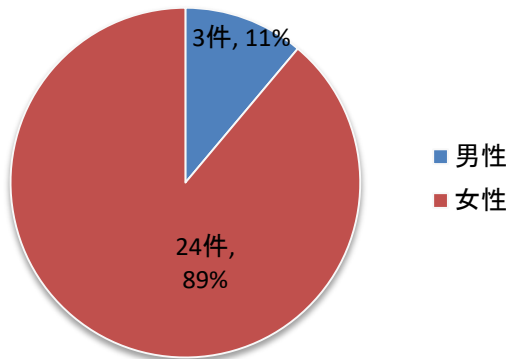
住居エリア



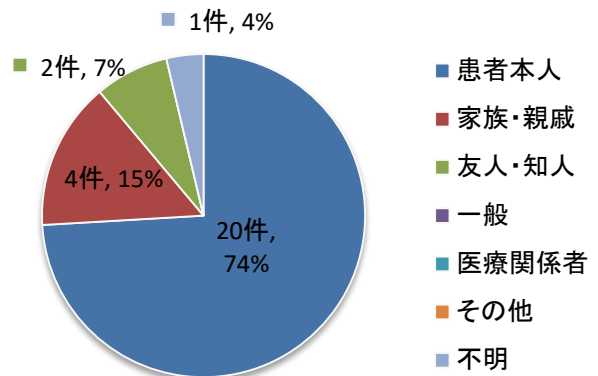
相談者の年代



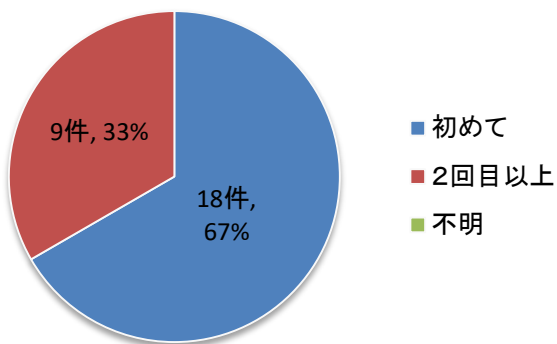
相談者の性別



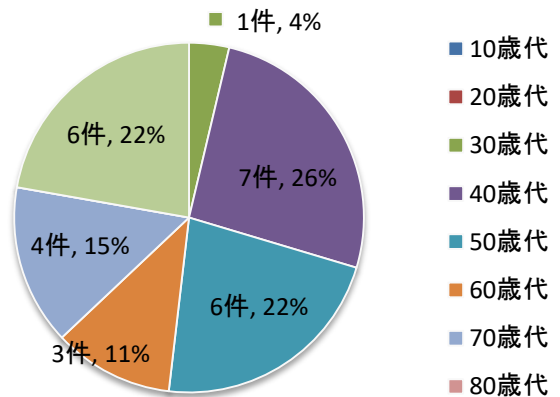
相談者のカテゴリー



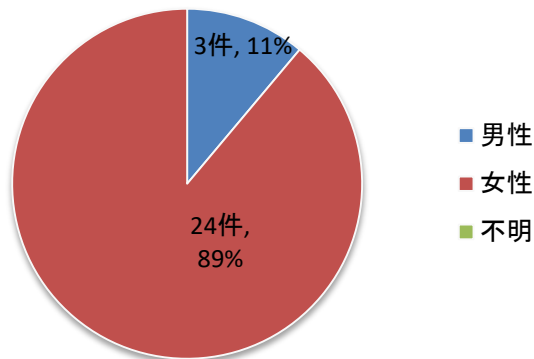
相談者の利用回数



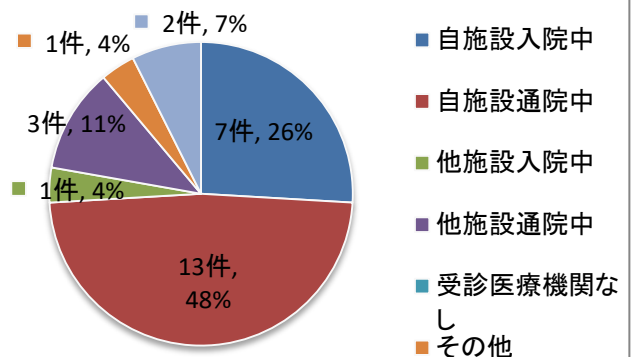
患者本人の年代



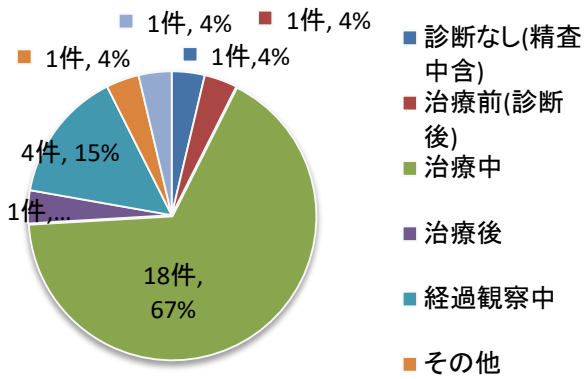
患者本人の性別



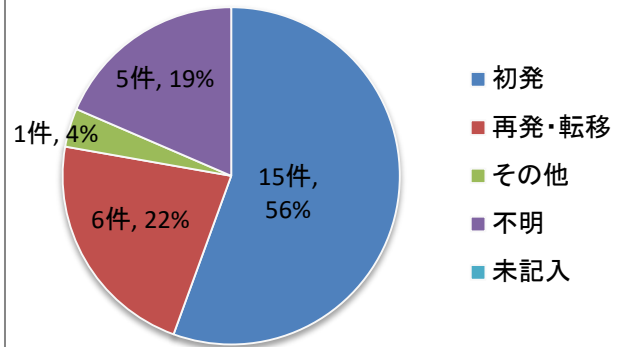
受診状況



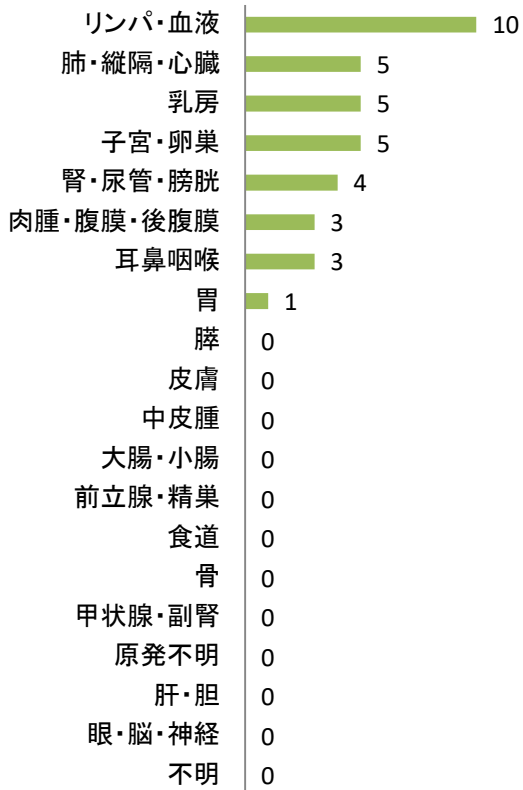
現在の治療状況



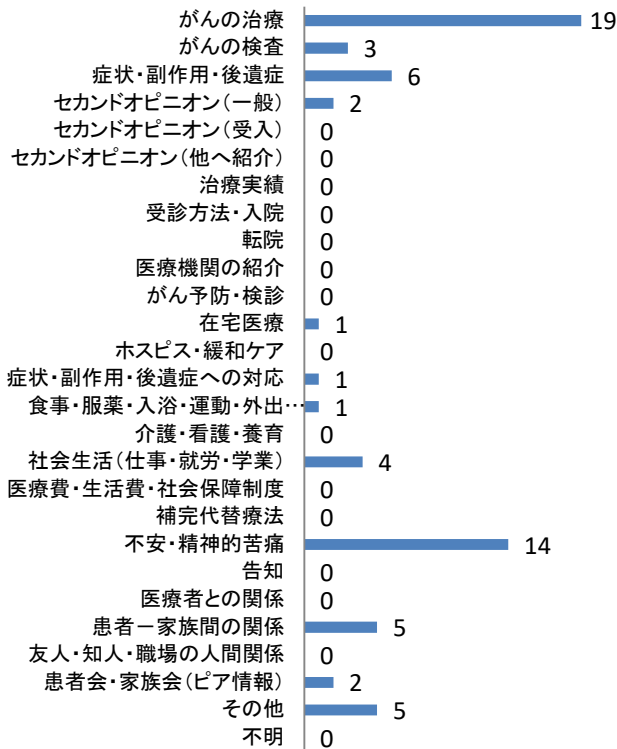
がんの状況



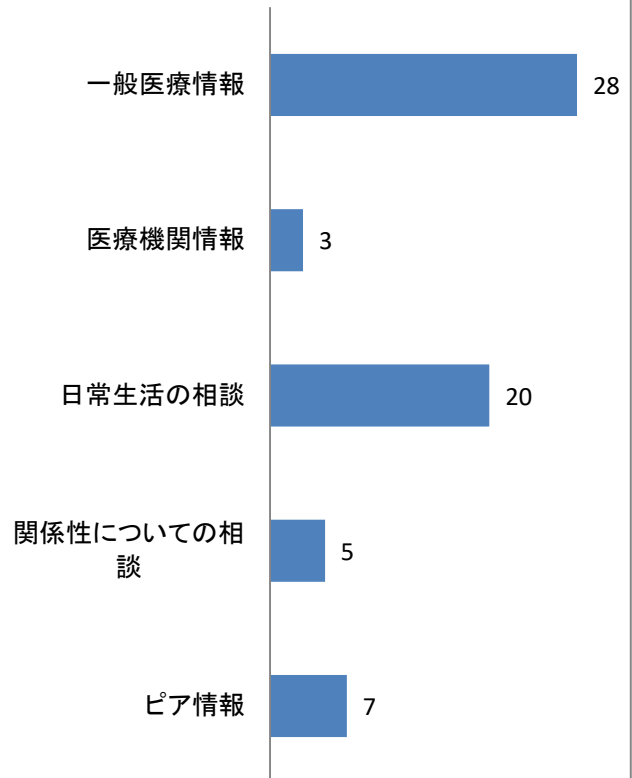
がんの部位



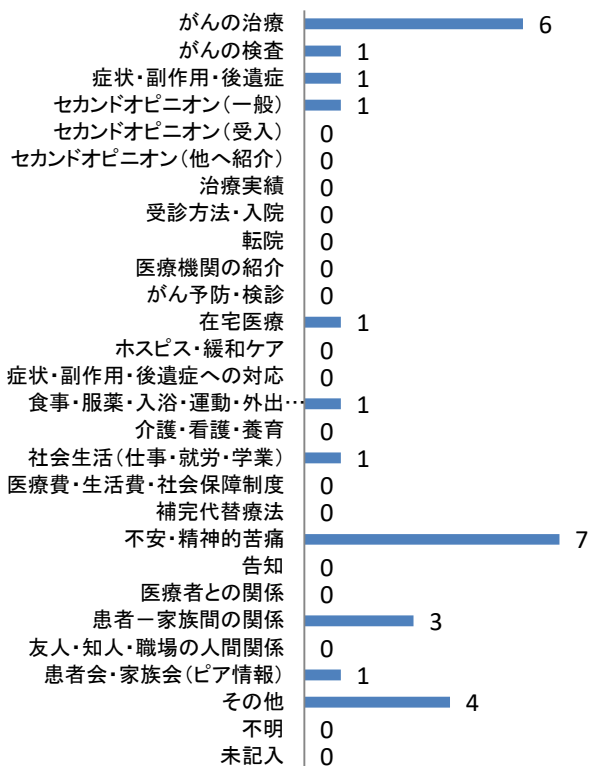
相談内容 (実施したものすべて)



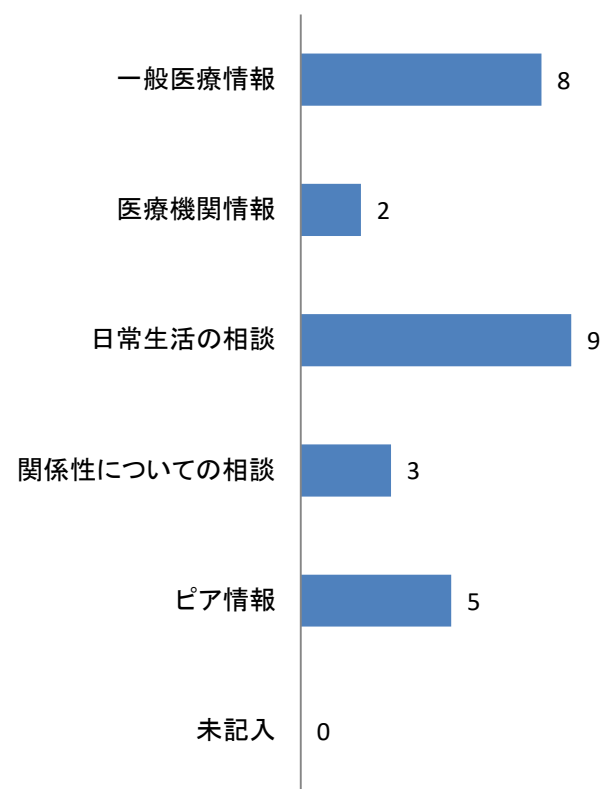
相談内容 (実施したものすべて・大項目別)



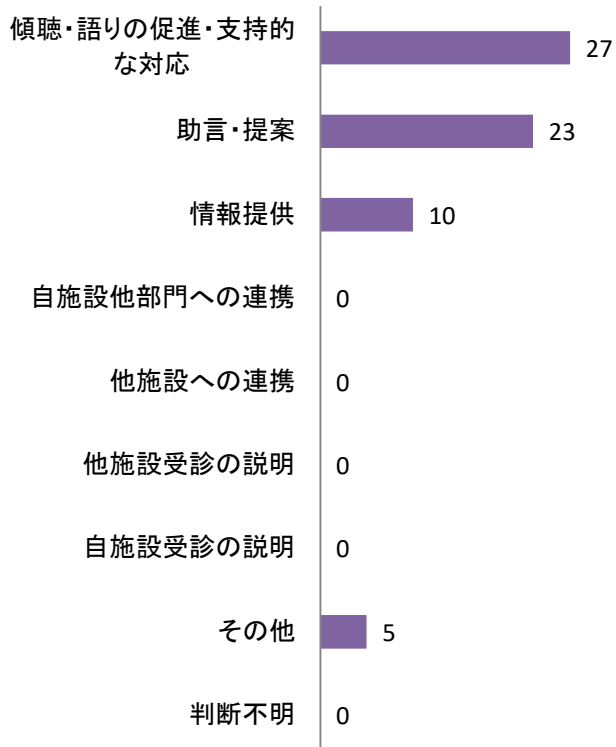
相談内容 (最も比重の高いもの)



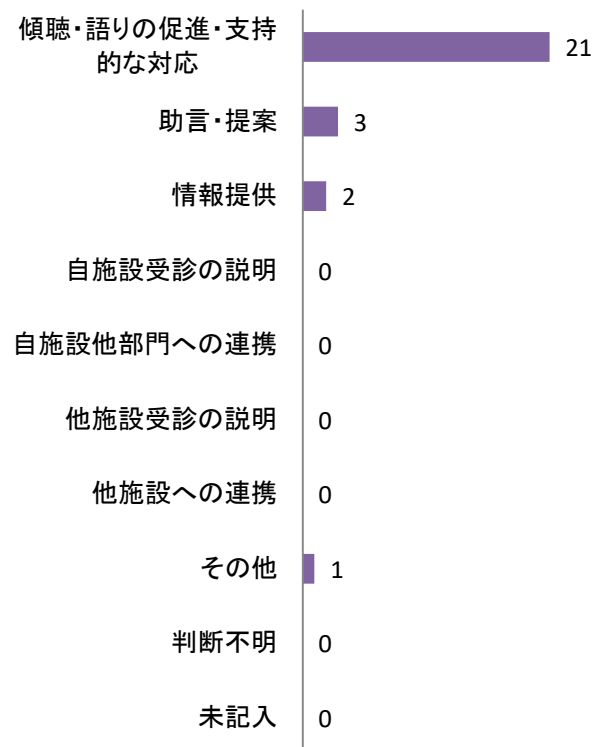
相談内容 (最も比重の高いもの・大項目別)



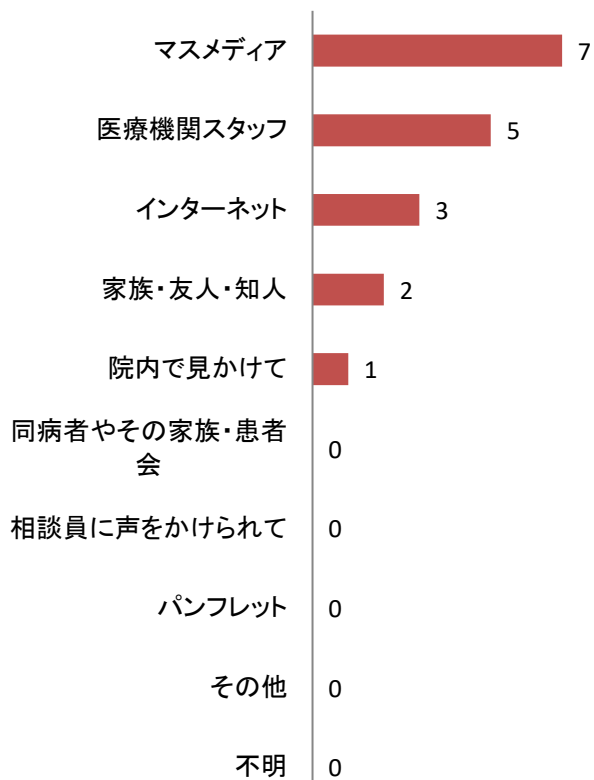
対応内容 (実施したもののすべて)



対応内容 (最も比重の高いもの)



認知経路



沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 1

名 称	ゆんたく会（がんピアサロン）
参加目的	沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを各拠点病院の院内患者サロンへ派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和2年7月7日（火）14：00～16：00 場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室
派遣者	がんピアサポーター 4名
引率者	地域統括相談支援センター相談員 1名
主 催	琉球大学病院 がん相談支援センター
当日の様子	<p>新型コロナの影響で3月より中止、5ヶ月ぶり今年度第1回目。前半は当院緩和ケア認定看護師による「自分で出来るリンパドレナージ」、後半は2グループに分かれてのフリートーク。講習では質疑応答を交えながら丁寧に指導、予定時間をオーバーする程だった。フリートークでは、近況報告を兼ねながら終始おだやかに進んだ。父親が告知を受けて間もなく、家族として何かできることはないかと涙ながらにお話しされた娘さんや、翌日入院するにもかかわらず情報を得たいと参加した方に対し、それぞれが体験談を含め「治したい、元気になりたいという気持ちが大事。主治医の先生と遠慮せず何でも聞いて話して納得して治療をするべき。しかし病気のことばかりでなくリラックスすることも心掛け、明るく前向きに。」と励まし、また「明日入院にも関わらずよく頑張って参加してくれた。」とみんなで褒めた。すると「お話しして落ち着いた。家族とも話し合ってみる。」「辛いけど、正直にお話したことで力になった。」と笑顔で帰られた。ピアサポーターからも「久々だったので最初は緊張したが、笑顔を見られてよかった。ホッとした。」と安堵していた。</p> <p>参加者 15名</p>



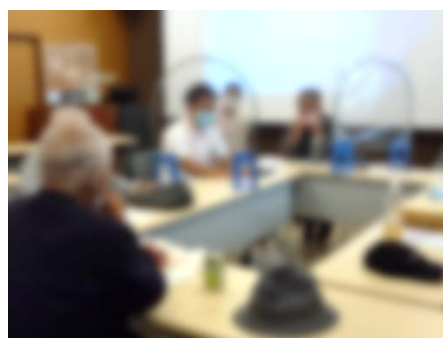
沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 2

名 称	ゆんたく会（がんピアサロン）
日 程	日 時 令和2年10月6日（火）14：00～16：00 場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室
派遣者	がんピアサポーター 1名 *大事を取って年内はピアサポーター固定し派遣。
引率者	地域統括相談支援センター相談員 1名
主 催	琉球大学病院 がん相談支援センター
当日の様子	<p>新型コロナの影響で再休止、3ヶ月ぶりに開催。前半は乳がん患者会ぴんく・ぱんさあによる「体験談スピーチ」、後半は2グループに分かれてのフリートーク。講話していただいた方はピアサポーターでもあることから、フリートークにも参加。那覇市立病院や県立中部病院では患者サロンが未だ休止しているため、当院に参加された方など、初めての方を中心に進めた。自己紹介を含め、それぞれの体験や症状等をお話する中で、まだ告知された訳ではないが疑っている方がおり「怖がる気持ちも分かるが、症状が出てからではなく早期発見も含めて検診等は大事なこと。後悔してほしくない。」と早めの受診を促した。また前回、父親のことで参加された娘さんがそのご両親とともにお薬や治療について「医療費がかさんで大変だし、いつまで続くのかと不安になる。」と吐露していたが「どうしても病気が中心になってしまうが、それだけではなく美味しい食事や趣味に勤しむなど、自分のできる範囲で楽しみを見つけることが大切。」と励ました。デリケートな内容なので自粛期間中でなくとも話しずらく、マスク着用、お隣との距離をとるなどお話が聞き取りにくい場面も見られたが、やはり体験者同士ということで気持ちが楽になりスッキリした様子。「また来月。」と笑顔で帰られたことで安堵。イベント開催、人を集めるには厳しい状況ではあるが、一人で抱え込まないよう、こういう状況だからこそ意義があると改めて感じた。</p> <p>参加者 17名</p>



沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 3

名 称	ゆんたく会（がんピアサロン）
日 程	日 時 令和2年11月10日（火）14：00～16：00 場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室
派遣者	がんピアサポーター 1名 *大事を取って年内はピアサポーター固定し派遣。
引率者	地域統括相談支援センター相談員 1名
主 催	琉球大学病院 がん相談支援センター
当日の様子	<p>前半は当院精神病態医学講座助教授による「がん患者さんの気持ちのつらさ」、後半フリートーク。質疑応答も含め、前半の講話が時間オーバーしてしまったが、がんと告知され治療が始まると、不安がどんどん募りうつ状態に陥ったりすることがあるが、同じがん種でも性別、年齢、体質等、みんな違うので、それぞれに合ったお薬、治療を選べるよう、自分の気持ちをちゃんと伝えるよう伝えられるようにする。そのためには患者側もある程度知識がないと、質問も理解もできないので勉強も必要ではないか。他人を思いやりながら自分も大事にする。ネガティブにならないことと、講話内容に触れながら話し合った。また「リンパ腫」について知りたいという質問に対して、ピアサポーターが自身の体験談をお話ししてくれた。リンパ節は全身に張り巡らされているので、他のがん種より転移が多く見られるが、早期発見・早期治療だったおかげで転移もなく今に至る。また若いころスポーツをしていたので、肺活量など基礎体力があったともいえるのではないかとのこと。新型コロナの影響で外出もままならず、家に居ることが多いが、散歩やストレッチなど出来る範囲での運動をすることが次に繋がってくる。体調には気を付けて、また来月お会いしましょうと終始和やかに進み終了した。</p> <p>今回は参加者が少なかったため、お隣りとのスペースを取りながら飛沫防止パーティションを設置し1グループでのトーク。マスクをしてもお隣りが気になったり、声が大きくなると飛沫が気になったりするのでパーティションを増やしたり、また換気として窓とドアを開け放していたが、寒い時期を迎えるにあたってさらなる対策を講じなければいけない。</p> <p>参加者 11名</p>



沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 4

名 称	ゆんたく会（がんピアサロン）
日 程	日 時 令和2年12月1日（火）14：00～16：00 場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室
派遣者	地域統括相談支援センター相談員 1名
主 催	琉球大学病院 がん相談支援センター
当日の様子	<p>初めて参加された方で「がんと告知されて1ヶ月。今週から抗がん剤治療が始まるが、副作用のことを考えると落ち着かず、離れて暮らす両親にどう伝えたらいいのかも分からない。皆さんはどうだったのか。」と涙ながらに質問。実際に抗がん剤治療を受けた方が自身の体験談をお話しつつ、種類や症状によっても副作用は違うので、まずは主治医とよくお話すること。その都度相談できるようコミュニケーションが大事。また、色々ときどきすることはあったとしても、正直に伝えたことで逆に以前よりも連絡を密に取るようになり、親子の絆を一層強く感じる事ができた。コロナ禍で会えない状況であっても、ちょっとした電話や写真を送るだけでお互い安心するのでは。あまり頑張りすぎず助けてほしいときは助けてもらい、治ったときにその分を返せばいい。先輩方からも、若いからこそ悩みが多いのは当然だが、良い意味での開き直りも必要。考えすぎず何事も前向きに。励ましを受け「ゆんたく会も含め、がんについてのサポートがあることを初めて知り、ありがたいと思った。今日は参加してよかった。」と笑顔を見せてくれた。</p> <p>2時間フリートークとなったが、沈んだ雰囲気にならないよう、会話をとぎれさせないように、参加者全員が気にかけていたようで、和やかに終了したことでホッとしたようにも見えた。また、それぞれの立場で声掛けができていたのでよかった。卵巣がんということで、終了後、女性だけでしばし歓談。患者会や情報収集についてなど話し合った。</p> <p>参加者 11名</p>



沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 5

名 称	ゆんたく会（がんピアサロン）
日 程	日 時 令和3年1月5日（火）14：00～16：00 場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室
派遣者	がんピアサポーター 1名 *大事を取って年度内はピアサポーター固定し派遣。
引率者	地域統括相談支援センター相談員 1名
主 催	琉球大学病院 がん相談支援センター
当日の様子	<p>お正月明け、また悪天候でもあったため、参加者は少なかった。ピアサポーター、MSW、緩和ケア看護師で交互に挟み2時間のフリートーク。前回も参加された方ばかりだったので、年末年始の過ごし方、近況報告を中心に談笑。3年後の米寿祝の際にウォーキングで沖縄縦断をしたいなど、年齢は関係ない、目標を持って頑張ろうと。</p> <p>耳の遠い方がおり、途中、他の方にもお話を振ろうとするも聞こえづらいのか、ご自身のことばかり話されていた時間がしばらくあった。お一人が手を挙げてくれ、そのことをきっかけに最後は3つに分かれて個人面談方式での対応となったが、本来はこちらが促すべきであり、お話をうまく切ったり誘導することがなかなか出来なかった。ゆんたく会やサロンなどは、当日にならないとどんな方が参加するのか分かりかねるではあるが、初めての方はもちろん顔見知りの参加者に対しても、始まる前に今日はどんな理由で参加したのかなどお声がけし、ある程度状況を把握したうえで対応するなり進行すべきであったと反省しきり。進行役を中心にその日の状況に応じて、スタッフみんなで進めていこうとなった。</p> <p>参加者9名</p>

